

令和6年度 1年次主幹教諭研修

本年度の研修について

令和6年5月20日(月)9:05—9:50

自己紹介

1人30秒 × 20人 = 10分

1 名前

2 所属

3 「開校式」で一番心に残ったこと
(その理由も含める)

School Leader Management Project

「令和の日本型学校教育」実現のための学校リーダー育成

徳島県教育委員会と鳴門教育大学が連携した「理論と実践の往還」による研修を通じ、

①マネジメント力、②アセスメント力、③コーディネーション・ファシリテーション力を有する学校リーダーを育成する。

(①教育資源の管理・運営 ②情報やデータの収集・整理・分析・共有 ③関係者の相互作用創出による学校の教育力向上)

徳島県教育委員会

校長 (校長格 <事務局勤務者>)

校長任用審査

教頭 (教頭格 <事務局勤務者>)

教頭任用審査

エキスパート
ティーチャー

指導教諭

【指導教諭研修】

- カリキュラムマネジメント
- 校内研修の活性化

(セルフデザイン型研修)

- 授業実践力
- 授業省察力・改善力
- 集団づくり力
- 課題解決力 等

指導教諭任用審査

主幹教諭

【主幹教諭研修】

- マネジメント力
- 企画経営力
- 人材育成力
- 組織づくり力
- 危機管理能力 等

主幹教諭任用審査

指導主事

【ファシリテーション
能力養成研修】

- アセスメント力
- 企画提案力
- ファシリテーション力 等

指導・助言

リーダーシップ養成研修

鳴門教育大学

管理職としての力量形成

教職大学院

- 学校づくりマネジメントコース
- ・学校籍で2年間派遣(教頭格)
- ・2年目は置籍校で実践研修

大学連携強化

学校力向上拠点校事業

- ・年4回程度の研修を1年間
- ・学校訪問の事前事後研修

独立行政法人教職員支援
機構 四国地域教職

アライアンスセンター

- ・年6回程度の研修を2年間
- ・所属場所で勤務しながらの研修

※連携・協働

※指導・助言

NITS

独立行政法人教職員支援機構

<養成・採用・研修関係機関間の中核拠点>

研修の高度化・体系化

学校経営、指導者養成研修、オンライン研修等

調査研究

教員の資質能力向上に関する調査研究等

連携協働

関係機関間のネットワーク構築

地域センター

岡山大学センター

常葉大学センター

四国地域教職アライアンスセンター

([鳴門教育大学センター](#)、[香川大学センター](#)、[愛媛大学センター](#))

立命館大学センター

福井大学センター

玉川大学センター

信州大学センター

山口大学センター

主幹教諭研修の特徴

1

県教委と鳴教大の協働による研修

- ・県教委指導主事2名がコーディネーターとして鳴教大に週2日勤務
- ・毎月、スタッフによる会議を実施

2

管理職としての力量形成の研修

- ・研修終了後に教頭任用審査一次を免除

3

アップデートを続ける研修

- ・スタッフ自身も知識と意識を常に更新

本年度のアップデート

1

キーワードは「新たな教師の学びの姿」

新たな教師の学びの姿

Q1

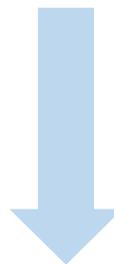
「新たな教師の学びの姿」って何？

Q2

なぜ今「新たな教師の学びの姿」
が求められているのか？

新たな教師の学びの姿

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと、
協働的な学びの実現～（答申）
（令和3年1月26日 中央教育審議会）



「令和の日本型学校教育」を
実現できるかどうかは、
教員の力量にかかっている。

「令和の日本型学校教育」を担う
教師の養成・採用・研修の在り方について
～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を
有する質の高い教職員集団の形成～
（答申）
（令和4年12月19日 中央教育審議会）

新たな教師の学びの姿

- 子供たちの学び（授業観・学習観）とともに教師自身の学び（授業観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」（個別最適な学び・協働的な学びの充実を通じた「主体的・対話的で深い学び」）を実現。
- 教職大学院のみならず、養成段階を含めた教職生活を通じた学びにおいて、「理論と実践の往還」を実現する。

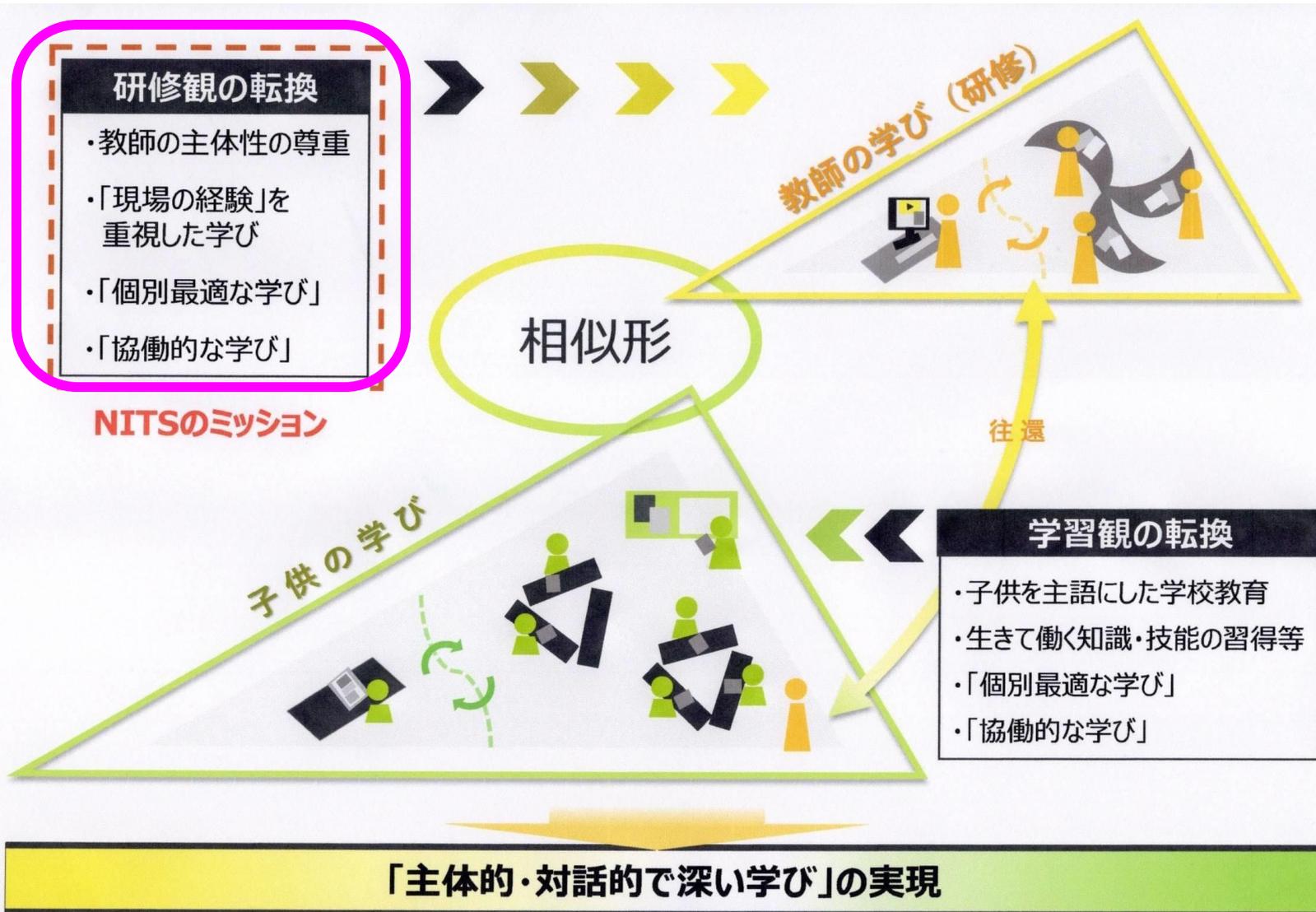
「『令和の日本型学校教育』を担う教員の養成・採用・研修等の在り方について
～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～
(答申) (R4.12.19 中央教育審議会)

新たな教師の学びの姿

- 変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶという「主体的な姿勢」
- 求められる知識技能が変わっていくことを意識した「継続的な学び」
- 新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した「個別最適な学び」
- 他者との対話や振り返りの機会を確保した「協働的な学び」

「『令和の日本型学校教育』を担う教員の養成・採用・研修等の在り方について
～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～
(答申) (R4.12.19 中央教育審議会)

新たな教師の学びの姿



本年度のアップデート

1

キーワードは「新たな教師の学びの姿」

2

1年目は「教頭」
2年目は「校長」

としての力量形成

・「問題」解決と「課題」解決

第1回主幹教諭研修 5月20日(月)

「教育行政の根幹である
教育法規の具体的運用」

「チーム学校と人材育成」

前田 洋一

鳴教大客員教授



第2回主幹教諭研修 7月3日(水)

「本県教育施策について」

佐古 貴昭

徳島県教育委員会
教育政策課係長



「教職員のメンタルヘルスについて」

小坂 浩嗣

鳴教大教授



第3回主幹教諭研修 9月30日(月)

「リスクマネジメントについて」

阪根 健二

鳴教大特命教授



「ファシリテーションについて」

濱田 雅子

鳴教大就職支援室
就職支援アドバイザー



第4回主幹教諭研修 10月(未定)

先輩管理職・現職教頭から学ぶ



現在、内容を検討中！
乞うご期待！

第5回主幹教諭研修 11月13日(水)

「リーダーシップについて」

露口 健司
愛媛大教授



本年度のアップデート

1

キーワードは「新たな教師の学びの姿」

2

1年目は「教頭」
2年目は「校長」

としての力量形成

・「問題」解決と「課題」解決

3

個人の力量形成を意識

・「徳島県教員育成指標」が道しるべ

Q3

「学級経営に必要な力と
学校経営に必要な力は
同じである。」

あなたはどうか考えますか？

第6回主幹教諭研修 12月11日(水)

中間発表会

個人の力量形成

みなさんの1年間の成長に
私たちも寄り添っていきます。

一緒に「自分のアップデート」を
楽しみましょう！